

部局名	教育委員会	所属名	青少年センター	所属長名	海野 鉄多郎	電 話	483-7300
-----	-------	-----	---------	------	--------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	4069		事務事業名称	青少年センター運営事業					短縮コード	経常	4069	臨時	4070
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市青少年センター設置条例施行規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
青少年の非行防止とその健全育成を図るために、八千代市青少年センター設置条例が昭和53年に制定され、八千代市青少年センター（以下「青少年センター」という）が設置された。青少年センターの適正かつ円滑な運営を語り、活動に必要な施策を協議決定するため、八千代市青少年センター運営協議会（以下「協議会」という）を設置し、地域等との連携を図りながら青少年の補導活動を推進するために、八千代市青少年補導委員（以下「補導委員」という）を設置している。また条例第3条に関わる業務を円滑に行うため八千代市学校警察連絡委員会事務局として活動をしている。青少年センターは、これらの協議会等の連携を通じて、青少年の非行防止・健全育成を語るため街頭補導活動、相談業務の充実・情報の共有化、健全育成に関わる広報活動等について諸活動を計画・運営している。また、環境浄化活動については、千葉県青少年健全育成条例が昭和39年に制定され、その後県から各市へ環境実態調査を依頼する形となり、それを受けて現在は書店、ビラ撤去、危険玩具調査を行っている。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の 施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
近年、青少年が関わる事件が多発・凶悪化が進行している。そうした非行防止のため、より一層、各関係機関との連携を図っていく必要がある。学校と警察等関係機関が連携を深めることにより、青少年犯罪に関わる情報の共有化が推進でき、非行防止に多くの関係機関や市民の協力を得ながら非行防止を協力的に推進することができる。特に地域に根ざす補導委員の街頭補導活動の推進は、地域の青少年を地域で育てる意識高揚にも繋がり、非行防止につながることはもとより、市民力向上にも大きく貢献するものと期待される。					大項目（節）	03	青少年健全育成						
					中 項 目	01	青少年健全育成						
					小項目（施策）	02	青少年健全育成事業の推進						
					細 項 目	04	非行防止活動の推進						
実施計画の計画事業													
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	青少年の非行防止							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 街頭補導活動、青少年非行防止のための会議、研修、各種行事への参加、学校と警察との連携、善行表彰、各学期休業中のしおりの作成、通報・相談業務、広報誌への掲載、青少年センター運営協議会の開催、環境浄化活動							
	※平成19年度に計画していること： 街頭補導活動、青少年非行防止のための会議、研修、各種行事への参加、学校と警察への連携、善行表彰、各学期休業中のしおりの作成、通報・相談業務、広報誌への掲載、青少年センター運営協議会の開催、環境浄化活動							
意図 （何を狙っているのか）	○非行防止の発見・指導 ○青少年補導委員の資質の向上、補導委員相互の連携を図る。○学校と警察の連携を図り、情報交換を行う。○非行防止・事故防止や善行の奨励等青少年の健全育成について周知する。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	17年度	18年度		19年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	青少年補導数	人	53	60	105	105	
	指標2	学校警察連絡委員会活動	日	22	22	23	23	
	指標3	補導委員連絡協議会活動	日	44	44	44	45	
活動指標	指標1	街頭補導活動	日	259	270	278	300	
	指標2	学校警察連絡委員会活動	日	22	22	23	23	
	指標3	補導委員連絡協議会活動	日	44	44	44	45	
成果指標	指標1	街頭補導活動	日	259	270	278	300	
	指標2	学校警察連絡委員会活動	日	20	20	20	20	
	指標3	補導委員連絡協議会活動	日	44	44	44	45	
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	4069	事務事業名称	青少年センター運営事業				所属名	青少年センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			青少年の非行を防止するための活動を行っており、今後も継続が必要である。各関係機関との連携を強化し、情報提供についてはより密接に迅速に行うことが重要となってくる。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止							
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			成果については上記の方法をとりながら、向上させる。		
			削 減	不 変	増 加			
	成 果	向 上	☐	☒	☐			
		不 変	☐	☐	☐			
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
特になし									

所属長コメント	青少年センター運営事業は、次代を担う青少年の健全育成を図るための諸事業を、多くの関係機関と連携して成し遂げていく事業である。本センターの事業として実施している街頭補導活動や環境浄化活動や相談業務を実施し、また児童生徒の健全育成に関わる情報等の共有化を推進して、青少年の非行防止に努めるとともに、関係部局と連携して地域の青少年の健全育成推進に努めている。本事務事業の評価はこうした観点から妥当なものであり、適正に評価していると考える。								
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続			改革・改善の具体策が示されていないが積極的に推進すべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									